

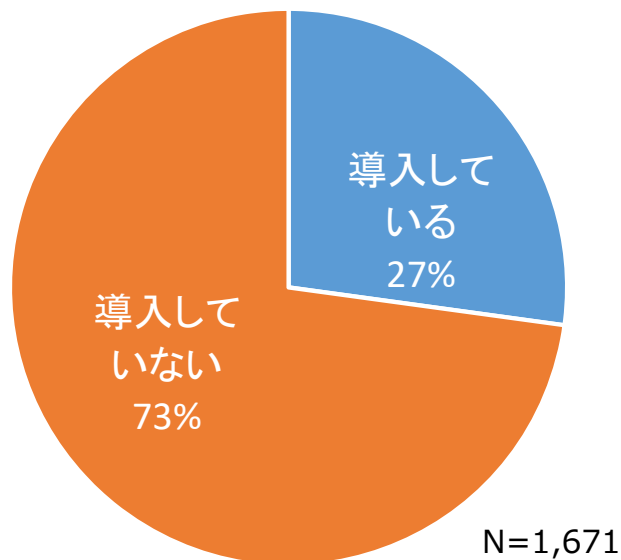
農林水産省所管分野のインフラ点検・診断などの業務における新技術等の導入状況

- 国民の安全・安心の確保や社会経済活動の基盤となるインフラの維持管理を計画的・効率的に進めていく上で、新技術等の積極的な活用を図ることが重要である。
- 上記を踏まえ、農林水産省所管10分野※1を対象に、インフラの点検・診断などの業務における施設管理者※2の新技術等の導入状況を調査した。

※1 農業水利施設、農道、農業集落排水施設、地すべり防止施設、海岸保全施設、治山施設、林道施設、漁港施設、漁場の施設、漁業集落環境施設

※2 国の機関（森林管理署等）、都道府県、政令市、その他市区町村

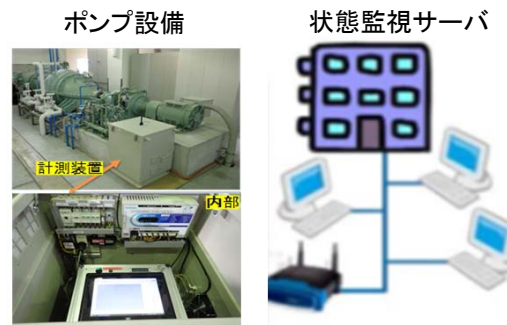
■ インフラの点検・診断などの業務で、ロボットやセンサー等の新技術等を導入している施設管理者の割合



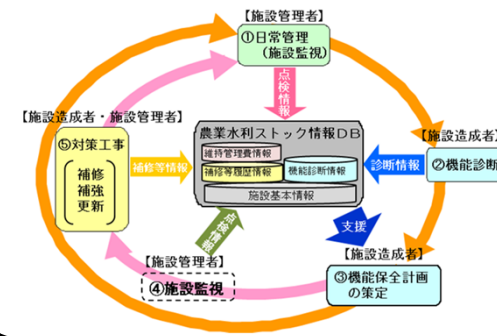
※対象時期：平成26から30年度まで
 ※対象管理者数：上記10分野の対象施設を管理している管理者を対象
 ※アンケートの回答率：100%

■ 新技術等の導入事例

潤滑油等の分析により、ポンプを分解することなく状態を診断する技術



点検情報や補修情報等を一元的に管理するデータベースの導入



ドローンを活用して施設の点検を行う技術



スマートフォンを活用して、現場点検データの蓄積、共有化を迅速かつ効率的に行う技術

